



平成 24 年 12 月 20 日

「森と湖の国」と「晴れの国」に共通する環境問題

＜概要＞フィンランド国立環境研究所の研究グループと岡山大学大学院環境生命科学研究科のグループが、フィンランド科学アカデミーと日本学術振興会による二国間共同研究プロジェクトに採択され、共同研究を開始しました。「森と湖の国」フィンランドと、「晴れの国」ゆえに農業用溜池などが多数存在する岡山は、その水質悪化という共通の問題を抱えています。双方の持っている技術を出し合い、共同して問題の解決にあたっていきます。

＜本 文＞

- ・ フィンランドには多数の湖沼があり、農業活動や都市活動による富栄養化や水質悪化が問題となっています。また、瀬戸内地方は降水量が少ないため多数の農業用溜池が存在していますが、その富栄養化や水質悪化が問題となります。このような共通の問題にそれぞれが持っている知識や技術を出し合って対処するため、この研究プロジェクトがスタートしました。
- ・ フィンランド側は、フィンランド国立環境研究所・淡水環境研究センターの Timo Huttula 教授を代表とするグループ、日本側は岡山大学大学院環境生命科学研究科の水藤寛教授を代表とするグループにより構成されています。
- ・ 8 月にはフィンランドでキックオフミーティングを行い、12 月上旬に岡山で第 2 回の共同研究ミーティング、及び研究対象となる瀬戸内海沿岸地域の視察ツアーを行いました。
- ・ 研究のみならず、人間的にもフィンランド人と日本人はウマが合うようです。



フィンランド国立環境研究所



研究ミーティングの合間に後楽園を訪問

＜お問い合わせ先＞

岡山大学大学院環境生命科学研究科教授

水藤 寛

086-251-8820

086-251-8820

suito@ems.okayama-u.ac.jp